



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE
 503 Shinseibashi Urbanlite
 1-5-12 Nishi-Shinseibashi Chuou-ku
 OSAKA 542 JAPAN

A P R I L 1995. No. 10

The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1994~1995)

- IP "SERVICE WITH VISION" "ビジョンある奉仕"
 AP "TOWARDS GROWTH AND BROTHERHOOD IN GLOBAL COMMUNITY" "深めよう 地域社会に兄弟愛を"
 RD "INNOVATION WITH COURAGE, ACTION WITH HEART!" — AIM HIGH AT 6000 —
 "勇気ある変革, 愛ある行動!" — 日本区6000への実りを求めて —
 DG 「わかち合う Y'S」
 CP 「レッツトライ (LET'S TRY)」 = 月間強調テーマ 「リーダーシップ トレーニング」 =

= 4月の聖句 =

¹⁴体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。¹⁷もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし全体が耳だったら、どこでおいをかぎますか。

¹⁸すべてが一つの部分になってしまったら、どこに体というものがあるでしょう。²⁰だから多くの部分があっても、一つの体なのです。²¹目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。²²それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。

²⁶一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

²⁷あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。

(コリントの信徒への手紙 1 12章
 14, 17, 19~22, 26~27節)

=== 4月第1例会 ===

日時: 1995年4月19日(水) 6:30~8:30 p.m.
 場所: 大阪グランドホテル

司会: 湯浅 充章 君

1. 開 会 点 鐘 三浦直之会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖 句 朗 読 鈴木 謙介 君
4. ゲ ス ト 紹 介 三浦直之会長
5. 日々 の 糧 及 び 黙 禱 一 同
6. 晩 餐 一 同
7. 卓 話 「21世紀の YMCA の使命を考える」
谷川 寛 君
8. お 誕 生 日 祝 い
9. ニ コ ニ コ 献 金 ド ラ イ バ ー
10. Extension 報 告 E M C 委 員
11. 役 員 会 ・ 委 員 会 報 告, YMCA ニ ュ ー ス
12. 閉 会 点 鐘 三 浦 直 之 君

3月在籍者	3月出席者		3月出席率	BFポイント
33名 広義会員	第1班 13名	第2班 8名	47% (マイキップ制)	3月分切手 1,318 pts
0名 合計	メネット 7名	1名	前月出席率 修正 - %	" 現金 500 pts
33名	コメット 0名	0名		本年累計
	ビジター 2名	0名		切手 19,234 pts
	ゲスト 1名	0名		現金 3,500 pts
	合 計 23名	9名		

◎大阪センター・アルミス・クラブ
 役員

会長: 三浦直之
 副会長: 掛江 康一
 " : 杉浦真喜子
 書記: 秋月 利英
 " : 栗山 佳三
 会計: 津田葉清政

◎ニコニコ献金:
 27,000円

◎4月第1例会当番: (第2班) 鈴木君, 山田君, 足立君, 長瀬君, 湯浅君:
 会場の受付・準備・後片付けなど宜しくお願いします。

今月の聖句に寄せて

聖書では人々の一致の精神を説くと共にそれぞれの人の持つ役割の大切さをも教えています。即ち、一人一人はかけがえのない存在であり、その人でなければ果すことのできない、独特の使命を持って生まれてきたものであることを教えていると思います。それが今月の聖句のポイントです。

私はいつも感じているのですが、日本区大会などで行なわれる表彰は、それぞれのクラブ活動を刺激するためには大いに意味のある行事だと思いますが、過熱すると、本末を転倒することにもなりかねません。アワードを受けることに夢中になり、例えば出席率にこだわるあまり、欠席の多い人々を非難する気持や無意識的に排除したりする気持になっていないでしょうか。しかし、クラブ員同志が親しみ合い、その存在を尊重し、理解し合って、同志的な交わりを持つことこそ、クラブを存立させる最も大切な要素であると考えます。

「目が手に向かって『お前は要らない』とは言えない」という象徴的な言葉を噛み締めたいと思います。

(聖句撰・解説：黒田 巖之)

3月第1例会報告

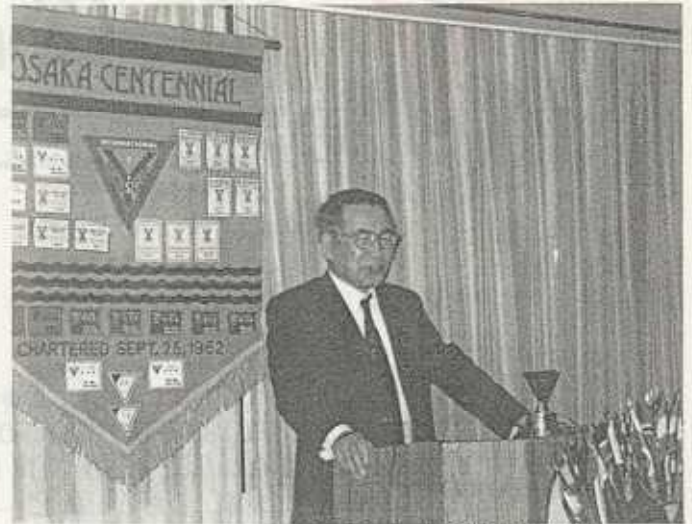
(3月15日(木) 6:30p.m.)

隅田 保

“震災救援のボランティア団体の活動を応援しよう”と2月の第2例会での話し合いが早速実を結びました。会員の積極的な協力を得て、「盲人情報文化センター」内のJBS(社会福祉法人日本福祉放送)のボランティア活動に対する支援として50万円を本会会員でもある、川越利信君を通じて贈呈いたしました。川越君の今回の震災に関して、高齢者、車椅子の方、視覚障害者、特に聴覚障害者の方々への支援が大変と云う話に出席者は、これからも何か役に立ちたいと思ったものです。

そして今日の卓話は、ゲストの仲田達男氏(東京西クラブ、東京YMCA理事)。本来なら1月例会でお願いしていたものが、阪神大震災の為例会が中止になり、今回で実現したものです。まず長年深くかかわって来られたボランティア活動について、今度の大地震を契機にボランティアたちの活動が大きく広がり、質的にも変化して市民権を得ようとしている、と論理的に整理してお話いただいたのは時節柄誠に有意義でした。

つづいて今日のテーマである「イスラエルへの旅」は素敵な旅行案内、2回の旅行でテルアビブ、エルサレム、イスタンブール、エジプト、シナイ山、ゴラン高原などのピリッとした楽しいお話しでした。一度は行ってみたい同好の皆さん、3月後半から4月が気候



(切々と、そして興味深く話される仲田達男氏)



(川越利信君を通じJBSのボランティア活動に義援金をお贈りする)

的にもベストだそうですよ。

笹江連絡主事から神戸YMCA復興基金のための募金運動への支援依頼があり、これは次の課題です。

グランドホテルの食事は温くてうまいのに、なぜかメンの例会出席の少ないことが気になります。5月はメネットナイト、メネットの皆さんよろしくお願ひします。メンは全員出席して楽しい例会を持ちましょう。

= B F 3月分報告 =

(BFポイントは第1面に掲載)

◎切手・現金提供者(難読)

谷川、山田、杉浦、三浦、鈴木、*黒田、*隅田、栗山、長瀬、**田中、**平田、福永

(*、**：それぞれポイント) 以上 12名 pts 順

3月末は切手の年度締切です。

日本区へ合計 2.6kg (12,200 pts)の皆様の尊い努力の結晶を確かに送付致しました。(BF 長瀬)

《 3 月度新クラブ準備例会報告 》

杉浦真喜子

阪神大震災の直後であり、新クラブメンバーとして熱心に参加しておられた翁美智子さんが犠牲になられたショックもあって、2月の例会は休会しました。

今回から例会日を第2水曜日とする1月の決定に基づいて、3月8日(水)に第5回目の準備例会を持ちました。誠に不本意なことに、新メンバーとして出席出来たのは3名に留まり、重要なことは話し合うことが出来ませんでした。

罹災者への奉仕活動に忙しく手の離せない方、自宅から避難して連絡の届かなかった方、震災のために準備が遅れたミャンマの奉仕活動の準備に追われている方など、それぞれの中に震災の後遺症が残っていました。

今年に入ってそれぞれの理由から参加出来なくなった方が4名出た反面、3名の新たな参加者が出るなどこちらにも激しい揺れがありました。同夜出席のセンチニアル設立準備委員も交えて討議の結果、当初の7月チャーターのスケジュールは白紙に戻し、拙速にやらぬよう組織固めをすることを決めました。

来月には懸案のクラブ名を「大阪なかのしま」とすることを確認し、役員組織を決めて実際のワイズ活動を早く開始しながら体制作りをすることを申し合わせました。

3 月第 2 例会報告

(3/22(木) 6:30 p.m.)

- 4月第1例会：別掲プログラム確認
- 5月第1例会：(5/17) YMCAサービス・ASF
メネットナイト。
卓話は池永栖子さんに依頼予定。
- 阪神大震災チャリティーバザー (3/26)
第1会場：瀬戸天井公園 チャリティーバザー
第2会場：西宮YMCA コンサート(カントリー・ワイズとダンス) 炊き出し
- 阪神大震災緊急復興募金—大阪YMCA—
(1) 神戸YMCA緊急復興募金：2,000万円
(2) 継続的救援資金：1,000万円
①日本区でも募金があるので、前向きに協力を検討する。
②クラブとしては、本年度会計の収支を見ながらYサ関係で検討する。
③メネット会より10万円笹江連絡主事に渡す。
④個人であることについては自由。
- センチニアル1泊研修会 (4/28(金)~29(土))
会場：滋賀厚生年金休暇センター
(近江八幡市北ノ庄町615 (☎0748-32-3221))
・第2例会とする。・新クラブ合流。
・MET委員等にて推進。(別報ご参照乞う)

- 女性メンバー例会：(4/12(木))
山地さん、戸田さんにミャンマー事業について話を聴く予定。
- 第49回日本区大会 (6/3(土)~4(日))
会長より極力参加の要請あり。
- 西副区ワイズシンポジウム報告
3/12(日) 1:30~4:30p.m. 於 大阪南YMCA講堂
(内容)
(1)「阪神大震災とボランティア活動」
西宮YMCA館長 山口 元氏
(2)「EMC … まとめと問題点」
日本区EMC事業主任 橋崎良治氏
(3)「ワイズに問われる質と量」
日本区6000プロジェクトチーム 森田恵三氏
(4)「ワイズのリーダーシップと日本区新リジョン構想」
日本区理事 岡本尚男氏
(出席者) 西副区約160名、当クラブより三浦会長
- 藤本君休会の件：(同君転勤のため)
休会制度がないため、7月より一旦退会扱いになる。
- 盲導犬募金チャリティ・コンサート(和波孝禧氏
ヴァイオリン・リサイタル) 入場券残り2枚分
はクラブ会計にて負担。
- その他 (頌: 猷)

= 4 月お誕生日の方 =

Happy Birthday to following people ……

柴田君	5日	堀メネット	9日
柴田メネット	11日	隅田メネット	13日

= 4 月第 2 例会 =

今回は、4/28~29の“一泊研修会”を第2例会とします。是非多数ご出席願います。

会計よりお願い

3月のプリテンでお願いしました震災救援ボランティアに対する援助募金は、3月20日現在23万円に達しましたが、引き続き4月末まで受け付けておりますので、御協力よろしく申し上げます。

尚、年度末が近付いておりますので、会費未納の方は早めに振込みをお願いします。

★振込み先

三和銀行 心斎橋支店 普通 3929190
センチニアルYs 会計 津田葉 清政

▽ 「応援する市民の会」への奉仕活動報告 ▽
山田孝彦

震災直後に国際社会奉仕センター内に誕生した被災者救援活動「応援する市民の会」については前号に笹江君から紹介されましたが、その活動基地として阪神電車深江駅近くに「東灘地域助け合いネットワーク」があります。ここでは土佐堀およびセントラルワイズメンの長尾夫妻をリーダーとして、被災地の在宅老人など弱い立場の人達のために、地域密着の支援活動を展開しています。当初から中西部のメネットがこれにボランティア参加をしてきました。わがセンテニアルメネットの活躍ぶりの一部が、やはり前号のプリテンに平田メネットより報告されています。

さて、前月の役員会で笹江連絡主事より、この活動へ更なる支援協力の要請があり、特に海外からYMCAに寄せられた救援物資の有効活用について依頼を受けました。その打ち合わせのために3月4日(土)午後2時より土佐堀の奉仕センターに、センテニアルから三浦・杉浦・山田メンと隅田・平田・山村・柴田メネット、それに基地からは長尾メンが集まりました。

しかしその時点ですでに、肝心の救援物資は奉仕センターには存在しないとの真嶋氏の説明で、拍子抜けの話になりました。折角の機会なので、長尾君から基地現場での日々流動的な状況変化についての説明を聴き、今後の協力体制について話し合いました。

その結果、今後は基地リーダーの長尾夫妻とセンテニアル隅田メネットが直結で現場のニーズを連絡し合うこと、隅田メネットはセンテニアル連絡網で必要な情報を流し、これに即応して協力することを確認しました。

早速3月11日(土)には食器・台所用品・寝具等が要請に応じて基地に集められ、センテニアルメネットとボランティア学生の協力で整理され12日(日)には、現地で100円バザーが行なわれました。その詳細はメネットからの報告で・・・(編註:欄を賑わす)
(その情景が17日付朝日新聞朝刊に写真で紹介されました。)

◎ 被災地のバザーお手伝い ◎
山村利子

3月9日(木)隅田メネットと私が日本聖公会聖贖主教会(阪急十三、関西いのちの電話と同じ所)へ全国から送られて来ました救援物資の中からバザーに出せる、衣類・台所用品・布団等をいただきに行きました。前以て電話でお願いをしてありましたので、快く献品してくださいました。宇野牧師、宇野牧師夫人に感謝。思いがけなく沢山の献品をいただきましたので、すぐに長尾メンに連絡をとり後日トラックで取りに来てもらうことにしました。聖贖主教会から次は北千里駅で隅田メネットのお友達大橋さんと待ち合わせ大橋さんの車で、私の行っています教会(東豊中聖ミカエル教会)までバザー用品を取りに行き、隅田メネットのお宅まで運んでもらいました。平田メネットもお友達からの献品を数回に分けて、隅田メネットのお宅まで運ばれたそうです。

被災地へは一般車が入れないため長尾メンが聖贖主教会の帰りに隅田メネット宅まで取りに来てくださったそうです。沢山、沢山集まったことに長尾メンも感激なさったそうです。

12日(日)午前中は暖かい春日和、バザー開店1時間前頃から被災者の方たちが開店時には約80人が並んでまだかまだかと待っておられるのをみるにつけ、被災された方のご苦労されている様子がわかりました。午後のバザーをはじめかけるころから雨が降り、売り手のボランティアも、買い手の被災者の方も一緒になって雨よけのテントを張り、おおわらわ、とりあえず無事終わることができました。

バザー会場のお向かいのあまり被災されていないお宅の庭には梅の花が満開でした。心なごむ思いがいたしました。

11日(土)バザーの準備には隅田メネットのお友達小倉夫妻、山田メン、杉浦メン、平田メネット、隅田メネット、山村コネット(一児の父)、山村メネットが手伝いました。

12日(日)は柴田メネット、佐藤メネット、隅田メネット、山村メネットがお手伝いしました。みなさんほんとうにご苦労様でした。

家族を失い、家屋を失い、職場を失った被災者の方を思うと、胸の痛みを感じます。被災地の一日も早い復旧、復興をお祈りしています。

[リーダーシップ・トレーニング]

Leadership Training (LT)

すべてのリーダーはその役に就く前に十分な研修を受け、任務の遂行に備えなければならない。狭い意味のリーダーシップ・トレーニングは部評議会・区役員会の折に行われる次期役員研修を指すが、日常のワイズ活動そのものが広い意味では常にリーダーシップのトレーニングである。例えば、返事を求めて来た通信に、できるだけ早く答える。これは基本的LTである。

(“HANDBOOK & MEMBERSHIP ROSTER 1994~95”より)



神戸のYMCA・ワイズの友を思う

メネット会長 隅田 恵子

今回の神戸YMCAの復興を支援する大阪YMCA復興募金は、その金額も3,000万円と大きく、これは大変な努力がいと感じました。

神戸YMCAは大阪YMCAの隣人であり、YMCAは、私達ワイズメンズクラブにとっては、一番大切なパートナーだと思います。また神戸で被災したワイズメン、メネットのことを思い、大阪センテニアルのメネット達は、10万円を拠出することにしました。

これは、メネット達がくつ下やお茶などを販売したお金です。こんな機会にそのお金を役立たせることができ、大変光栄に思っております。

会誌 十月勝ワ イズ 訪 問 記 23

谷川 寛

閑空を飛んで二時間、眼下に雪景色の十勝平野が見えて来ました。広大な一面の銀世界は、私にとって20年前に住んだカナダを想出させてくれました。

山田北海道部長、渡辺十勝クラブ会長のお招きで、二月の特別例会に出席しました。地元J.C. 農業、牧畜関係の団体の人々が招かれていました。世代は若く新しい活力を感じました。

私の話のテーマは、“これからの奉仕クラブを考える——アメリカワイズの衰退に学ぶ”です。入会期待の人々が5名ぐらい参加していました。いずれも帯広地区の青年の代表です。例会には札幌YMCAの黒田次期総主事、札幌北クラブの藤川さんなどの参加もありました。北海道部長の山田さんは、Yのリーダーの出身で、若き牧場経営者。彼とはワイズ国際大会がグラントラピッドであった時以来です。この若さで会長、部長を経験、北海道のワイズを引っ張っています。

美人会長の渡辺さんはJ.C.の出身。アナウンサーの経験もあり、彼女の魅力が十勝ワイズの男性を引きつけています。他のメンバーは、農業、牧畜関係の30才代の後半の人々が中心。

例会のあとの夕食会にも多くのメンバーが参加してくれ、カニ料理をごちそうになりました。二次会はカラオケで、その席で入会すると云ってくれたJ.C.のメンバーもありました。そのあと山田部長につれられて食べたラーメンの味が忘れられません。翌日、フライト前に、増中ワイズの案内で、白鳥の戯れる川、池田ワイナリーなど広大な十勝平野で久しぶりに解放感を味わいました。

日本のワイズも都市型から、いずれ帯広のようなサイズの街を中心にしたコミュニティ中心のワイズにシフトすることでしょう。彼らの活躍を期待して、銀世界の帯広空港を離れました。雪の十勝平野は二日間とも快晴でした。

IBC ニュース

谷川 寛

アジアYMCA同盟の常務委員会（於 香港、3月15日～18日）に出席しました。会期中の夜開られたワイズのチム・シャ・ツイクラブの14周年記念行事に参加。香港デイトリクト（9クラブで構成）のワイズメン、メネットが、阪神大震災のために募金で集めてくれた¥355,647の小切手を受取りました。これは彼らが、募金のためカラオケ・パーティ、ビンゴゲーム等の催しで、日本区のために集めてくれたものです。この仲介の労をとってくれたのはホヒニアクラブのソフィア・フォン会長及びベティ・ライ直前会

長です。小切手は帰国後、日本区岡本理事に手渡しました。

ホヒニアクラブのソフィア・フォン会長以下7/8名の有志が、別の夜に私のため夕食会を開らしてくれ、さらにカラオケに繰り出しました。ホテルに帰ったら12時を過ぎていました。 謝謝。

§ § § §
阪神大震災チャリティバザーと炊き出し
§ § § §

谷川 有美子

隅田メン・メネットと私の三人は「大チャリティバザーと炊き出し」へ参加しました。3月26日（日）朝9時集合。

私達の参加したのは、中西部・阪和部担当の「炊き出しとカントリーソング」。場所は西宮YMCA。

私達は、ぜんざいの炊き出しが主な仕事でした。隣はうどんの炊き出し。担当は京滋部。うどんのおいしそうなおいが充滿している横で、黙々とぜんざい作りです。といっても、十勝Y'sですすでに作っていたあんこ（冷凍で送ってきたもの）を水で薄め、餅を焼いて入れるだけの簡単な仕事です。

11時すぎた頃から人々が集り出しました。おいしいうどんを食べたあとデザートのぜんざいを堪能した人々は、西宮Yの建物の3階ホールへ。なんとそこでは、カントリーミュージックが楽しそうに演奏されているではありませんか。

楽団の演奏に合わせて、皆ステップをふんでいますカーボーイハットに粋なウエスタンスタイルのプロの楽団とばかり思っていたのですが、よ～くみると、団員の中には見覚えのある顔々が……。そうです。京滋部選りぬきのアーティスト達。京都から楽器を積んで、はるばる西宮まで被災された人々に元気をおくるために来て下さったのです。のぞきに行った私達もステップを踏んで大汗をかきりフレッシュさせて頂きました。そして、もう一つ。

先月号でその奉仕活動ぶりを報告された池永栖子さんが、実際に西宮Yで働いてられる様子を見学させていただきました。隅田メネットと二人で「ご挨拶」に行ったつもりが「どうぞ、どうぞ」とすゝめられ、「患者」にしてもらい「治療」して頂き、感謝感激。

今日のご奉仕は、むしろ「恩恵」にあづかった一日でした。



☺ ニコニコ・メッセージ ☺

- ◎仲田達男メンから未知の国のお話をおもしろくお話しして下さいまして有難うございました。
何時寄せて頂いても質の高い例会を感じます。国際に国内へのボランティアにも積極的で感銘しました。これからも長くよろしく願いたいと心から願っています。・・・(大阪長野クラブ) 今井利子
- ◎川越さんの素早い行動力には深い感銘を受けました。目の不自由な方々には、まだまだ苦難の日々が続くかと思いますが、今後もサポートをお願いします。(お若いのでびっくりしました。)・・・栗山佳三
- ◎仲田さん有意義なお話ありがとうございました。
川越さん 頑張れ!! ・・・黒田敏之
- ◎ボランティアイズムとイスラエルへの旅について貴重なお話有難うございました。・・・笹江良樹
- ◎先週末、ガスが出始めました。お風呂に自由に入れるようになりましたが、これで手抜き料理の言い訳が出来なくなってしまいました。でも、とにかく感謝!!
仲田さんのお話、ありがとうございました。
・・・杉浦真喜子
- ◎会友川越兄の素晴らしい神戸でのボランティアぶりはTVや新聞で知りました。川越さんの久し振りの顔を見て感謝一杯。・・・鈴木謙介
- ◎仲田さんボランティアとイスラエルのお話ありがとうございました。一度は行ってみたいものです。
・・・隅田 保
- ◎東灘地域助け合いネットワークへの支援、メネットの皆様と共に参加出来ますこと、感謝申し上げます。
・・・隅田恵子
- ◎別に娘美果の結婚をかくしていたわけではありませんが、3月12日(日)YMCAで挙式いたしましたので、ご報告まで。・・・田中穂二
- ◎我が心のイスラエル、なつかしいイスラエルのお話ありがとうございました。なん回行ってでも思い出深い国でした。
川越さんのお仕事心より大変な事とお察しいたします。御活躍お祈り申し上げます。・・・田中豊子
- ◎やっぱり例会へ出席させて頂くのは喜びです。今日の卓話は興味のあるものでした。一度は行ってみたい国——イスラエルのお話。仲田さん有難うございました。昨日より主人は香港での会議に出席、今夜の欠席を残念がっておりました。・・・谷川有美子
- ◎仲田様のイスラエルのお話し有難うございました。もし機会が得られ行く事が出来たら、参考にさせて頂きます。・・・津田葉清政
- ◎仲田様のイスラエル旅行の話は大変楽しく聞かせていただき感謝! ・・・平田雅利
- ◎日本からは遠い国イスラエルの興味深い話を伺いました。・・・平田由喜子

- ◎仲田さんでなければ伺えないイスラエルは、非常に印象的でした。有難うございました。是非行きたいものです。川越さんの貴重な素晴らしい御活躍に感銘。心から感謝します。・・・福永嘉彦
- ◎今日は仲田さんのお話、イスラエルの旅興味を持ってき、ました。有難うございました。
川越さんのお働きに感謝。メネットのボランティアのお働き感謝です。・・・福永滋子
- ◎仲田様、示唆に富んだお話しありがとうございました。
川越さん、又例会にお越し下さい。・・・三浦直之
- ◎震災から約二ヶ月、暖かくなり、春の花々は何事もなかったように咲いていますが、罹災された方々、まだまだ大変だと思います。お身体に気をつけて早い復興をお祈り致します。
「イスラエルの旅」興味深い卓話有りありがとうございました。・・・森 晴美
- ◎ついにガスが通じました。これで我が家の「ライフライン」はすべて復旧しました。まだまだ不便な生活を強いられている多くの人々があることを思えば単純に喜んでいられない思いです。感謝。
・・・山田孝彦
- ◎先日“東灘地域たすけ合いネットワーク”のバザーをお手伝いさせていただきました。若いボランティアの方々の自主的な活動に祈りつつ。
・・・山村利子

◆◆◆ クラブ・ソング ◆◆◆

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;
We raise our hand, Our service pledge renewing,
Ne'er to deny our motto's claim,
Y's Men in fact as well as name,
Always our objects to pursue,
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて
とおきも ちかきもみな
ささげて 立つやワイズメン
さかえと ほまれゆたか
まことは 胸にあふれん

【編集後記】 今年予想されない出来事が早くも次々と起っている。救援からぞっとするような事までそれぞれ何か強い国際的つながりを覚える。平安を切に祈る。これから一泊研修会、日本区大会と活気に溢れるスケジュールが楽しみである。復興のツチ音に希望を燃やすようにハリキッテ! (Y.F.)